



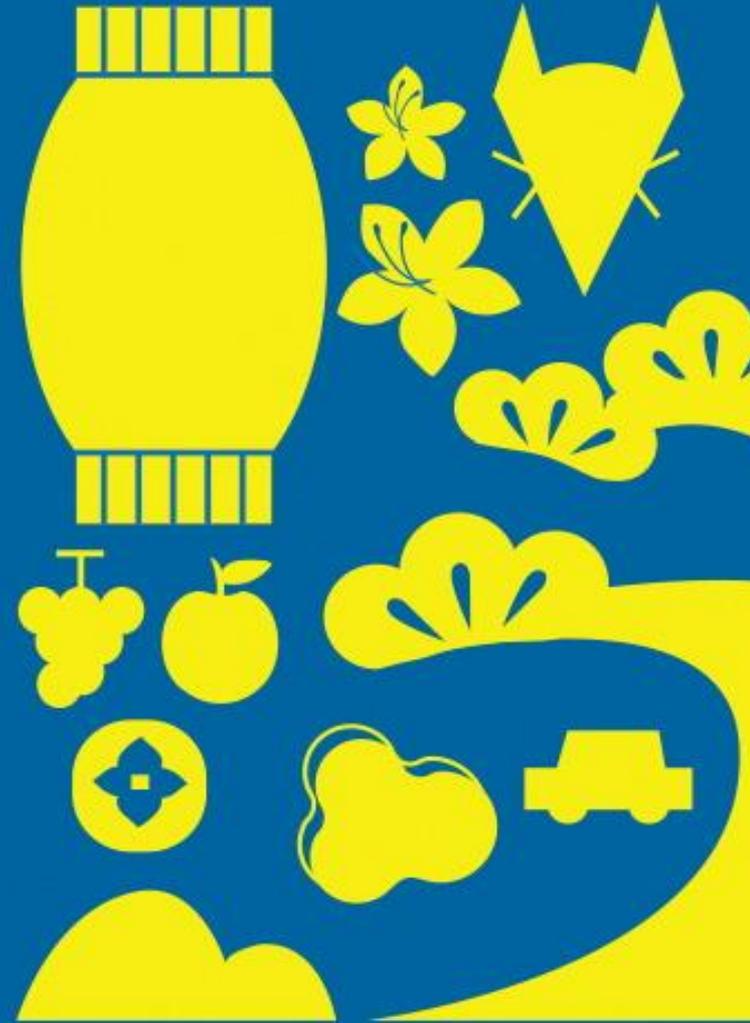
MIYOSHI CITY
みよし市

令和5年度みよし市 一般会計補正予算 (第4号) 【案】

国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 【案】

介護保険特別会計補正予算(第1号) 【案】

令和5(2023)年9月
記者会見



デジタル化推進

ゼロカーボンシティ推進

SDGs 推進

一般会計 歳入歳出補正予算

13億8,006万7千円

(単位：千円)

項目	既決予算額 A	補正予算額 B	合計 A+B	(参考) 当初予算額
一般会計	26,896,886	1,380,067	28,276,953	25,987,000
特別会計	8,444,601	186,416	8,631,017	8,444,601
国民健康保険特別会計	4,721,058	77,662	4,798,720	4,721,058
介護保険特別会計	2,914,114	108,754	3,022,868	2,914,114
後期高齢者医療特別会計	809,429	—	809,429	809,429
合計	35,341,487	1,566,483	36,907,970	34,431,601



MIYOSHI CITY
みよし市



公共施設等のあり方を検討し再配置の 方向性を示します

補正額 **513万7千円** (債務負担行為R6-7 2,472万8千円)
(計画策定業務委託費)

公共施設等の情報分析や調査、人口・財政状況の将来予測等から
公共施設等総合管理計画の改定を行っていきます。

【再配置の方向性検討手順】

① 公共施設等の現状と課題を整理

- ・ 財政状況や人口推計など、将来推計の分析を実施
- ・ 既存の公共施設等の老朽化状況調査を実施
- ・ 公共施設等の利用状況調査や市民・利用者アンケートを実施

➡ **令和6(2024)年度中に、公共施設白書を作成**

5つの方向性を柱として公共施設等のあり方を検討

まちづくりとの連携

各種計画と連携しながら、地域や施設の特性を考慮して公共施設等の更新、維持管理及び利活用を図る。

施設保有量の最適化

既存施設の用途の必要性や耐用年数、利用状況等を考慮して類似施設への機能の複合化・集約化を進める。

公共施設等の長寿命化

長期的な視点で計画的な修繕を行う「予防保全型」による維持管理を行い、公共施設等の長寿命化を推進する。

官民連携手法の積極的な導入

民間事業者の資金やノウハウを積極的に活用する。

市民や地域のニーズ等に対応

市民・行政区や地域のニーズの多様化、防災対応、環境配慮、ユニバーサルデザイン等を考慮して公共施設等の更新、維持管理及び利活用をする。

高校生世代まで子ども医療費支給対象者を拡充します

補正額 **760万9千円**（システム改修費、受給者証郵送料等）

R6.4.1 開始

子ども医療費の支給対象を高校生世代（就労者等を含む）の通院費まで拡充し、**出生から高校生世代までの医療費無償化**を実施します。

【支給対象者】

出生から高校生世代までの子ども 11,200 人 【内訳】 中学生以下: 9,600 人 高校生世代: 1,600 人

【受給者証の交付方法】

中学生以下…対象者全員に有効期限を延長した受給者証を一括送付（申請不要）
高校生世代…対象者全員に申請書を送付し、申請者全員に受給者証を一括送付

【スケジュール】（令和5年度）支給拡充の準備 （令和6年度）出生から高校生世代までの医療費支給

年度	追加予算内容	拡充に伴う予算額
令和5(2023)年度	・システム改修費 ・子ども医療費受給者証の郵送料	760万9千円
令和6(2024)年度	・扶助費（高校生通院費支給分）	（拡充分）7,000万円

中学3年生・高校3年生の インフルエンザ予防接種費用を助成します

補正額 **328万円**（予防接種助成金）

R5.10.1 開始

進学や就職など、人生の大切な節目を迎える**中学3年生及び高校3年生相当の者を対象**に、インフルエンザ予防接種の費用の一部を助成します。



【助成対象者】 中学3年生及び高校3年生相当者

【対象接種期間】 令和5(2023)年10月1日から令和6(2024)年1月31日まで
※助成金の申請は、10月1日から3月31日まで受け付けます。

【助成内容】 医療機関で支払った接種費用のうち **5,000円(上限)／1人当たり1回(年度)**

【申請方法及び周知方法】

申請方法	周知方法
・あいち電子申請・届出システムによる電子申請 ・申請用紙を窓口又は郵送	個別で対象者へ案内を送付

市内小中学校で「ラーケーションの日」を導入します

補正額 **976万8千円** (校務支援員人件費)



家族と子どもが一緒に過ごし、家庭や地域で体験や探求の学び・活動をする日として「ラーケーションの日※」を導入します。

※【ラーケーションの日】とは…保護者等の休暇にあわせて子どもが年に3日まで（令和5(2023)年度は2日まで）取得できるもので、「欠席」扱いにはならない

➡ 「ラーケーションの日」導入にあたり、学校への支援として、校務支援員を各校1名ずつ配置します。

【実施校数及び導入時期】

実施校数…12校（小学校8校、中学校4校）

導入時期…令和5(2023)年10月から令和6(2024)年3月まで

※令和5(2023)年度は、愛知県「休み方改革プロジェクト」に伴うモデル事業として実施



みよし市こども計画を策定します



補正額 **375万9千円**（債務負担行為R6 896万7千円）
（R5 ニーズ調査委託料 R6 こども計画策定業務委託料等）

「みよし市児童育成計画」と「子ども・若者計画」「次世代育成支援行動計画」を一本化した「**こども計画**」を策定します。

また、こどもや子育てに関する施策等を推進するため、基本理念、市の責務や役割、施策の基本方向等を定めた（仮称）**こども基本条例の制定**を目指します。

【スケジュール】

	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度
こども計画	・こども、保護者、関係者等への ニーズ調査	・こども計画策定
（仮称）こども基本条例	・こども未来会議で意見聴取 ・条例構造案の作成	・条例案作成 （令和7(2025)年度施行予定）

【参考】

- ① 令和5(2023)年4月に施行されたこども基本法第10条第2項において以下のとおり規定された。
「市町村は、こども大綱を勘案して当該市町村におけるこども施策についての計画を定めるものとする。」
- ② 国が策定したこども大綱では、こども施策を総合的に推進するために、「少子化社会対策大綱、子ども若者育成支援推進大綱、子どもの貧困対策に関する大綱」のいずれも現行の大綱は廃止され、こども大綱に一元化される。

こどもの安全を確保するための交通安全対策工事を実施します



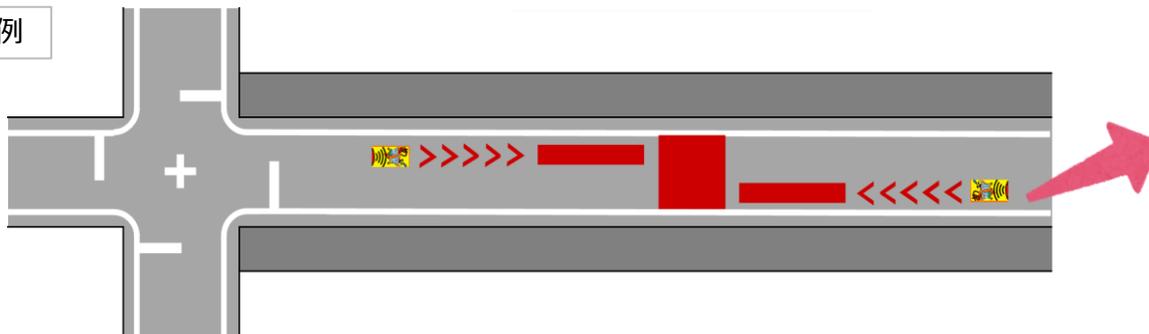
補正額 **436万5千円** (カラー舗装等交通安全対策工事費等)

ドライバーに対して交通安全の注意を促すため、道路にカラー舗装や注意看板を設置する等、園児や児童の安全対策を実施します。

場所 天王保育園、わかば保育園、東山児童館

- 対策**
- ・ドライバーに対して徐行を促す路面標示（カラー塗装等）を施工
 - ・施設入口付近に、注意看板を設置

施工例



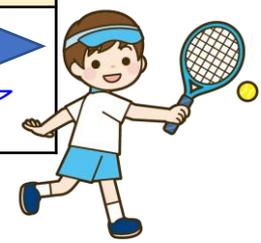
三好丘公園のテニスコートを改修します

補正額 **9,950万円** (テニスコート舗装工事費等)

平成4(1992)年4月に供用開始されたテニスコートの破損や劣化が著しいため、**ハードコートによる改修**を実施します。

【スケジュール】

10月	11月	12月	1月	2月	3月
設計 入札・契約	→				工事完了
	工事着手				



【現状のテニスコート】



令和5(2023)年9月 定例記者会見



MIYOSHI CITY
みよし市

